

議会だより

2022年 5 月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



当初予算

82億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月10日から開会され、令和4年度当初予算をはじめ、条例の制定や一部改正、令和3年度補正予算など、町長から提案された21議案及び議員発議の1議案をいずれも原案どおり可決し、22日に一般質問等を行って閉会しました。

令和4年度一般会計予算は64億7800万円で、対前年度比約39%の増、特別会計を合わせた7会計総額では、81億9427万円で、対前年度比約29・7%の増となっています。

歳入において、町民税及び固定資産税は、新型コロナウイルス感染症の影響による減少を勘案し、町税全体で12億64万3千円減の4億7216万7千円の計上となっています。地方譲与税及び国等からの交付金については、総務省作成の地方財政計画により推計し前年度から2747万1千円増の2億699万1千円、普通交付税は9955万7千円増の2億2146万6千円を見込んでいます。また、財源不足に対応するための財政調整基金からの繰入れは、昨年度から4000万円減の1億5000万円を計上しています。歳出の主な事業は次ページに掲載しています。

令和4年度各会計当初予算

(単位：万円)

会計名	4年度	3年度	比較	伸び率	
一般会計	64億7,800	46億6,000	18億1,800	39.0%	
特別会計	国民健康保険特別会計	5億8,111	5億9,754	▲1,643	▲2.7%
	介護保険特別会計	3億8,833	3億9,360	▲527	▲1.3%
	後期高齢者医療特別会計	6,888	6,715	173	2.6%
	医療施設特別会計	5,079	9,627	▲4,548	▲47.2%
	簡易水道特別会計	3億6,209	2億9,305	6,904	23.6%
	公共下水道特別会計	2億6,507	2億832	5,675	27.2%
	小計	17億1,627	16億5,593	6,034	3.6%
合計	81億9,427	63億1,593	18億7,834	29.7%	

※端数処理をしているため、合計が合わない場合があります。



当初予算の

主なもの

農林水産業の振興

道営農地整備事業

2567万円

十弗西区・礼作別・長節地区の
区画整理及び暗渠排水設備の整備

林道整備工事

6080万円

茂岩、一宮、長節地区におけ
る林道の開設及び改良工事

畜産担い手育成総合

整備事業（再編整備事業）

1760万円

豊頃地区における草地の整備
及び造成、暗渠排水設備の整備

緊急漁場保全活動支援

事業補助

200万円

急増している「トド」の生息調
査に対する補助

社会基盤の整備

町道の整備・橋りょう

補修

5億7890万円

茂岩高台線ロードヒーティン
グ改修、幌岡第3幹線、北栄17
連絡線の整備、橋の補修など

水道施設改修・更新工事

1億4247万円

統内地区配水管布設替ほか施
設の新設や設備の改修・更新（簡
易水道特別会計）

町営住宅整備工事

3650万円

大津港町団地個別改善工事及び
住宅の塗装改善、除却工事ほか

福祉の充実

次世代育成支援金支給

事業

1960万円

子どもを育てる保護者へ出産
祝金や健全育成支援金、保育所
通所支援金を支給

福祉タクシー乗車券交付

事業

665万円

高齢者世帯にタクシー乗車券
を交付。

乳幼児等医療費助成事業

840万円

本町独自に高校生までの医療
費を無料化

商工業・観光の振興

プレミアム付特別商品券

発行事業補助

3339万円

商工業における買い物客の町外
流出対策として額面上乗せ20パー
セントのプレミアム分を補助。

教育の振興

豊頃小学校改修事業

1925万円

豊頃小学校の改修工事に伴う
実施設計

中学校改築事業

16億5990万円

豊頃中学校の改築に伴う建
築・電気設備・機械設備工事、
工事監理委託及び備品購入など

災害対策

潮位観測システム更新
整備工事

4449万円

アナログ回線を利用している
システムから光回線を利用した
潮位観測システムに更新

トンケシ緊急避難場所

避難路調査設計業務

450万円

トンケシ高台緊急避難場所避
難道路工事の調査設計業務

※表示の金額は、1万円未満
を四捨五入しています。



会計名	補正額	総額
一般会計(第11号)	1億3,125万円	54億4,820万円
一般会計(第12号)	100万円	54億4,920万円
国民健康保険特別会計(第2号)	▲3,114万円	5億7,077万円
介護保険特別会計(第2号)	▲684万円	3億9,855万円
後期高齢者医療特別会計(第2号)	52万円	6,822万円
医療施設特別会計(第4号)	▲1,496万円	8,409万円
簡易水道特別会計(第4号)	▲1,399万円	3億344万円
公共下水道特別会計(第4号)	▲1,870万円	2億6,321万円

令和3年度
補正
予算

補正予算の主なもの

◆庁舎1階窓口改修工事
128万円
役場庁舎1階に出納係対応窓口を追加する改修工事

◆住民記録システム改修業務(繰越明許費)
273万円
住民記録システムを新たに改修するもの

◆公用車購入 395万円
農業委員会で使用する公用車の更新

◆道営農地整備事業(繰越明許費)
4219万円
北海道が進める農地の区画整理・暗渠排水等の整備に対する負担金(十弗西区、礼作別、長節地区)

◆赤潮対策事業交付金
135万円
昨在大津で発生した赤潮における対策事業への交付金

◆除排雪委託
2400万円
降雪回数増加による除排雪委託の増加費用

◆除雪機借上
170万円
降雪回数増加による町内での除雪業務に使用する除雪機借上げの増加費用

◆災害見舞金
100万円
3月16日に東北地方で発生した地震において、被災した福島県相馬市(姉妹都市)へ災害復興のための見舞金(一般会計補正予算第12号)

このほか、予算額の精査による減額
※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用できる経費のこと。
※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

〔条例制定・改正〕

▼行政手続における押印等の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定
行政手続における押印の見直しを推進し、市民の利便性と自治体業務の効率化を図るため、関係する条例の見直しを行うもの。

▼豊頃町課設置条例の一部改正
子育て支援所の業務を福祉課に、商工観光課の業務を企画課に統合し、出納業務を住民課で行うこととするため所要の改正を行うもの。

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正
級別職務分類表の一部を改正するもの。

▼豊頃町国民健康保険税条例の一部改正
子育て世帯の経済的負担軽減のため、未就学児に係る被保険者均等割額の5割を減額するよう改正するもの。

▼豊頃町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

広報とよころ 議会だより

役場だより



ひとり親家庭の福祉向上を目的とし、ひとり親家庭の母又は父の外来医療費を助成の対象とするもの。(従来は入院時のみ助成。)

▼豊頃町消防団条例の一部改正
消防団員の年額報酬や、災害等の職務従事時の報酬額を増額改正するもの。

▼豊頃町議会委員会条例の一部改正
豊頃町課設置条例の改正に伴い、常任委員会が所管する課や係の規定を改正するもの。(議員発議)

主な審議内容

条例制定・改正

▼行政手続における押印等の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定

Q 石田議員 押印の見直しについて、押印が不要となる書類があるなか、押印が必要となる書類との違いは何か。また町民が申請をする場合に押印が必要となるものはあるのか。

A 基本的には認印を使用していた申請書類等の押印は廃止対象としている。なお町民からの申請書と呼ばれるものについては押印が不要となり、契約や協定、権利関係の書類については、これまで通り押印を必要としている。



▼豊頃町課設置条例の一部改正
Q 石田議員 会計管理者が住民課長兼務となる。会計事務の処理のボリュームは大きいと思われるが、支障は生じないのか。

A 現在会計管理者を含め3名体制で出納業務を行っているが、今後は会計管理者のほかに係を3名配置し対応したいと考えている。

令和3年度補正予算

Q 石田議員 町たばこ税の税収が増額となった理由は。

A 税率の引き上げのほか、コロナの影響により外出控えとなったこと、また令和2年12月から町内に新たにコンビニが1件増えたことにより、町内でたばこを購入した方が増えたことが要因と

推測している。

Q 小笠原議員 プレミアム付商品券が初日で売り切れている状況にあり、あらかじめ大枠の予算計上が必要と考えるが。

A 販売枚数はチラシ等で周知しており、事前に高齢者へ優先的に販売しているが、購入できない方がいることは承知している。今後商工会と協議のうえ検討する。

令和4年度当初予算

Q 穴谷議員 町有林整備を行う町内事業者の人手不足、後継者不足への対策は。

A 林業及び農業・漁業といったすべての第一次産業において、後継者不足は喫緊の課題だと認識している。町として何ができるのか各関係機関と協議し対応したい。

Q 穴谷議員 移住体験事業はコロナ対策により中止していた事業であるが、今後の事業の進め方は。

A 移住体験住宅の利用にあたっては、フクチン接種証明やPCR検査結果の提示を求めるなど要領を作成しており、全体的

な状況を鑑みつつ今後も事業を進めていきたい。

Q 石田議員 広域保育利用委託制度の内容は。

A 豊頃町居住の児童を町外の保育所に、町外居住の児童を豊頃町の保育所に入所可能とする制度。居住市町村の保育所への入所により、親の勤務が困難になるなどの支障が生じる場合のみ本制度の利用が可能となる。

Q 坂口議員 鳥獣被害防止対策事業について、事業者から補助内容に対する意見が挙がっており、事業内容に反映できないか。

A 令和2年度から始まった3年計画事業のため、令和4年度は、見直しは行わず、課題等を整理したうえで、令和5年度から整備を検討したい。

Q 中野議員 大津地区における避難路整備について、住民の不安解消のため、早急に全体像を示し事業を進めていただきたい。

A 大津地域住民との話し合いの際にも、避難路が国道336号線しかないということに不安であることを伺っている。整備の全体像については出来るだけ



早くお示ししたい。

Q 中野議員 長節を拠点に狩猟や商品製造・流通を行っている会社、トンケシ山にレストランなどの経営を構想していると聞いているが、何か照会などはあるのか。

A レストランの構想は何う機会があつたことから、可能となるよう努めているつもりであるが、今後は災害等の宿泊避難場所として利用の可能性がないかなど協議していきたい。

Q 小笠原議員 今後のサマランド市との交流事業についてはどのように考えているか。

A コロナの影響により、令和4年度についても生徒の派遣を見送ることとしている。現在、町交流協議会と連携してオンラインによる交流ができないか検討をしている。

Q 杉野議員 成年後見人制度について、高齢者に説明等入念な周知を図り、安心して高齢者が生活できるように行政のバックアップが必要と考えるが。

A 制度が分かりやすく利用しやすいものになるよう周知に努める。

ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難する決議

去る2月24日、ロシア連邦はウクライナへの軍事侵攻を開始し、一般市民を含め多数の死傷者が出ている。

武力によるロシア連邦の攻撃はウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、かつ明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認できない。

本町では、幸せな町民生活を守るため、世界の平和と安全を実現し恒久の平和を願い平和非核宣言を行っており、ウクライナへの侵略はそのような町民の願いに反するものである。

よって、豊頃町議会は、ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア連邦に対し、即時に完全かつ無条件で軍をウクライナより撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。



以上、決議する。
令和4年3月10日

豊頃町議会

大崎英樹議員から提案説明がなされ、議員全員の賛成で決議されました。

第1回臨時会（1月21日開催）

▼町道の変更について

町道牛首別南33線（牛首別地区）の起点を変更し、延長を257mから1045.3mに変更するもの。

▼町道の廃止について

使用されていない町道農野牛礼作別線（農野牛地区）の路線を廃止するもの。

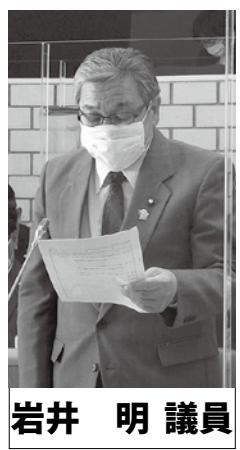
産業厚生常任委員会の審査報告に基づき、2議案を原案のとおり可決しました。

▼令和3年度一般会計補正予算（第10号）

住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり10万円を給付する臨時特別給付金給付事業に5306万円、昨年11月9日から10日にかけての低気圧による大雨により被害を受けた奥地林道農野牛線の災害復旧工事費3200万円、道東太平洋において発生した赤潮の影響により、多大な被害を受けた漁業者への支援のための交付金840万円の計上など、歳入歳出それぞれ8822万2千円を追加し、予算総額を53億1695万5千円とする補正予算案を審議。
原案のとおり可決しました。



一般質問



岩井 明 議員

ジェンダー平等と「男女共同参画」等について

Q 国や地方自治体がジェンダー平等の推進、差別是正等の取り組みを進めるうえで、全般的な施策の根拠法となっているのは、「男女共同参画社会基本法」であるが、本町において、この基本法に対する現在までの取り組み状況は。

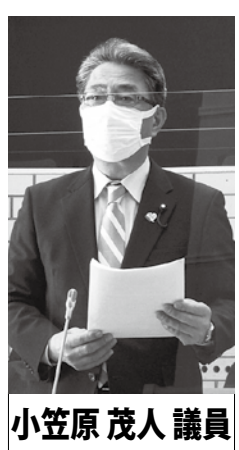
A 按田町長

男女共同参画については、国・都道府県が推進するための計画を策定するよう、基本法にて義務付けられており、市町村については努力規定とされているところである。本町において男女共同参画についての単独での計画はないが、

広報とよころ
▽一般質問
議会だより
役場だより

第5次まちづくり総合計画及び第7次行政改革大綱において男女共同参画を推進していくことを明記しており、これらの総合計画と一体となって推進を図っているところである。

取り組み状況については、「男女平等参画の実現に向けた意識の革新」、「男女がともに活躍できる環境づくり」、「安心して暮らせる社会の実現」、またこれらの推進のため、女性の社会進出を支援する「ファミリー・サポート事業」、「放課後児童クラブの設置」、「延長保育」、「子宮がん・乳がん検診」などの取り組みを実施することにも、行政事業所としても女性職員の活躍推進に向け、男女間で偏りが無い職員採用や多様なポストへの積極的な配置を推進している。



小笠原 茂人 議員

バイオガスパラントの今後の構想・新たな電力システムによる次世代の需給構造の構築とその可能性について

Q 現在計画が凍結しているバイオ

オガスパラント事業について、現在道内自治体やJAにおいて、新しい電力需給構造のバイオガスパラント事業が実行されようとしているなか、本町の計画を再始動するための町長の考えは。

A 按田町長

家畜ふん尿の適正処理や災害時に向けた一般家庭への供給などを可能とする電力システムの構築は、非常に魅力的な事業であり、今後必要な事業であると考え、町の負担やJAを含めた受益者となる農家の負担も考慮しつつ、事業に着手する必要があると考えている。

Q 小規模送電網構築及びバイオガスパラント事業は、本町の大規模ハード事業として必要であると考え、将来の農業・畜産を担う若い世代のためにどう考えるか。

A 按田町長

将来農業や畜産を担う若い世代、また漁業・林業の継続的生産のためにも環境保全の取り組みは必要と考えているが、バイオガスプラント事業を進めるうえで最も配慮すべき事業実施に伴う負担について、どの程度かを見極めるとともに、JAを含む事業主体、受

益者の理解、同意を得つつ、事業実施に向けた協議が必要であると考える。

コロナ禍の生乳需要減と乳製品消費拡大対策について

Q 今後の生乳廃棄危機回避のため、新たな生乳応援消費の実効策を予算化し実施できないか。

A 按田町長

JAとともに運営している「豊頃町牛乳消費拡大推進協議会」において、「コロナフクチン接種会場での牛乳無料配布などを実施しているが、今後の状況等に注視し、更なる消費拡大事業の推進について、関係機関と協議してまいりたい。



豊頃町の生乳を使用した商品(一例)

Q 新年度予算にて「クーポン券発行事業補助金」があるが、一部を牛乳クーポン券にできないか。

A 按田町長

生乳需要減に伴う消費拡大としては、JA等とも協議のうえ、必



要であれば別に予算措置して対応すべきものと考えている。



杉野 好行 議員

トンケシ緊急避難場所
避難路調査設計業務について

Q 大津漁港を横断し、直接トンケシに上られる陸橋のような構造物を視野に入れた避難路整備計画ができないか。

A 按田町長

大津地区住民との意見交換の中で、国道336号線に向かう大津旅来線1本しか逃げ場所がないという話の中、いろいろな選択肢としての避難する道が必要であるという考えから、現在の計画においては地域の避難場所として整備の拡充を図るため、高台までの登坂の勾配を緩やかに改修し、冬期間でも避難路として十分に通行できるように整備する事業を計画している。

議員提案の計画については同じ思いを持っているが、予算面などの負担が背景にあったことで、実

現に至らなかつたのではないかと考えられる。まずは今回の計画に多方面からの考え方を取り入れ、国の支援も受けられるような形を取りながら整備を進めていきたい。

Q 国道336号線の一時避難場所から二次避難場所への避難経路となる林道の整備及び、二次避難場所の確保を災害対策で進めていかなければならないと考えるが。

A 按田町長

二次避難場所の確保において、トンケシ付近の草地などが候補となる場合は、土地所有者との協議が必要だと考えている。また二次避難場所への避難経路としての林道整備など、色々な懸案事項があるが、トンケシの整備だけではなく、大津地域全体を見て考えていきたい。



大崎 英樹議員

町政に臨む基本姿勢について

Q 町政に臨む基本姿勢として、特に重要事項や中心的な課題についてどう考えているか。

A 按田町長

子どもから高齢者まで町民一人ひとりが共に支えあい、安心して健やかにいきいきと暮らせる町の実現を町民と共に築いていくため、特に「基幹産業の振興」「人口減少・少子高齢化への対応」「防災・防犯体制の強化」の3点を重点課題として捉えている。

豊頃町がこれからも持続的に発展し、町の地域特性・資源を活用しながら、小さくても活力のある町を目指していきたいと考えている。

Q 新年度予算において「第5次豊頃町まちづくり総合計画」に関わる政策予算をどのように反映しているのか。

A 按田町長

基幹産業を中心に豊かな地域経済の実現と生活環境の整備・充実、福祉・子育て支援、教育環境の整備、移住・定住施策、防災減災対策、そして感染症予防対策を意識した予算編成としている。

中でも千島海溝沿いの巨大地震に対する災害対応として、大津潮位観測システムの更新やトンケシ

緊急避難場所整備、地域防災計画・ハザードマップの見直しなど、防災減災対策に力を入れ重点的に予算を配分している。また役場機構改革により、実効性の高い組織体制を作りながら、町民の命と安全を守る体制整備を図ることとしている。

Q 町の若者を支援する制度についての実態は。

A 按田町長

移住・定住施策をはじめ若者を支援する施策は幅広く整備しているところであり、他町にはないような施策も多々ある状況である。

町外へ通勤する町内居住者への「町外通勤者助成」や住宅の新築や購入の際の「住宅取得補助金」などが一例であり、金額についても他町よりも優れているのではないかと認識している。

また町外から就業で町内へ転入する方への「転入費用助成」や、豊頃町出身者で、町内事業所にUターンされた方への奨学金の一部を助成する「おかえり助成金」を始めている。



総務文教常任 委員会レポート

広報とよころ
▽総務文教常任委員会レポート
議会だより
役場だより

1 調査の経過と結果

(1)リモート授業、オンライン授業などの現状について

町内の全小中学校が一斉臨時休業となった令和2年5月に、豊頃中学校の3年生がタブレット端末を活用し、ウェブ会議アプリ「Zoom」での双方向型のオンライン授業を実施している。また、新型コロナウイルスの感染が確認された児童・生徒が在籍する学年が学年閉鎖となった際にもリモートによるオンライン授業が実施されている。その他、生徒が濃厚接触者となっ

た際や不登校の生徒への学習支援にも活用している。



総務文教常任委員会（小笠原茂人委員長）は、2月4日、いまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないコロナ禍において、本町の小・中学校での授業の現状と今後の授業体制について調査を行いました。

更に、夏休み・冬休み期間中には児童生徒がタブレットを持ち帰り、授業支援クラウド「ロイロノート」などを活用し、健康管理や学習課題の配信や提出などに活用しているほか、学校教育向けの番組「NHK for school」を視聴し、課題等の調べ学習に活用している。

(2)安全・安心な端末の活用方法について

セキュリティ上問題のあるサイトへのアクセス防止のための「フィルタリングソフト」が各端末に入れてあり、児童生徒が安心してタブレットを利用できる環境となっている。また、各学校内のネットワークセキュリティに関しては、業者において管理がされている。

また、児童生徒がいじめや犯罪等のネット上のトラブルに巻き込まれないよう、児童生徒のネット上の不適切な投稿を検索・監視する「ネットパトロール」を教職員が定期的の実施している。

(3)端末の貸し出しについて

各学校に配置しているタブレット等を家庭学習用に自宅等で児童生徒が使用する場合には、「豊頃町教育委員会情報機器等貸出要綱」に基づき保護者から借用上の遵守事項に関する同意書の提出を求め、タブレット等を貸し出している。

記録番号	借出日	借出者	借出校	借出時間	借出状況	備考
00204	08/30	生徒5	豊頃	16:47	貸出なし	
00204	08/30	生徒4	豊頃	16:47	インフルエンザ、発熱	
00204	08/31	生徒3	豊頃	16:47	貸出なし	
00204	08/31	生徒2	豊頃	17:17	発熱、頭痛、高熱等	
00204	08/31	生徒1	豊頃	16:47	貸出なし	

授業支援クラウド「ロイロノート」(ソフト一例)

(4)教育用情報機器端末等の整備状況と今後の整備計画について

校内LANの整備については、平成27年度に整備を完了しているが、今後、豊頃中学校改築及び豊頃小学校改修工事において校内通信網の高速化を図る予定である。学習用パソコン等の導入については、国の補助金等を活用し町内各学校に総数で2222台のタブレット端末を購入し、児童生徒1

人1台の端末整備を令和2年度までに完了していることから、今後は、耐用年数が経過した端末等を計画的に更新していくこととしている。

また、クラウド化については、学習の場面においてクラウドシステムを利用したアプリケーショントラッキング「ロイロノート」及び「電子ドリル」を既に活用しているが、学校業務においては、各学校の自前のサーバーを設置して運用している。今後はクラウドサーバーのセキュリティ性の高さ、初期コストや維持費の削減等の利点を考慮して、学校業務のクラウドサーバーへの移行について検討することとしている。

(5)通常授業のほかにハイブリッド型授業などの導入計画について

対面とオンラインを組み合わせた「ハイブリッド型授業」は、多くの生徒が一つの教室に集まることを避けるため、全国の大学や高等専門学校等で導入されている。現在、本町の各学校のクラス編成は多くても20名前後であり、教室内の感染対策も十分できることから、対面型を中心とした授業を実施している。

今後の状況により児童生徒が分



散登校になった場合、ハイブリッド型授業の実施もあり得るが、自宅などで授業を受ける場合には機器の設定やトラブル対処、授業中の声掛けなど、特に低学年においては保護者のサポートが不可欠なため、ハイブリッド型授業の導入については十分な検討が必要としている。

(6) デジタル教科書への移行について

今年度、全国の半数の小中学校でデジタル教科書の先行実施検証を行っているが、本町においては全ての小・中学校において実施検証を行っている。豊頃小学校では5・6年生の「音楽」、豊頃中学校では1年生「地理」、2年生「数学」、3年生「公民」の授業において、また、大津小学校については重点校に指定されていることから、全学年において1・2年生は「生活」、3年生から6年生は「社会」の授業においてデジタル教科書による指導方法の実証を行っている。

来年度は、全国すべての小学校5・6年生及び中学校全学年の英語でのデジタル教科書の実証検証を実施することとなっているが、希望する自治体については調整の範囲内で1教科追加することが可

能なため、本町は追加希望を提出し、承認されれば2教科実施することとなる。

今後のデジタル教科書の導入計画については、文部科学省の有識者会議の中で、小学校の教科書改訂のタイミングとなる令和6年度から本格的導入を求める提言が出ているため、文部科学省では今年度の実証検証等の結果を踏まえ、デジタル教科書の有効性や標準的な性能・



タブレットを用いた授業(小学校)

仕様、採用する教科、無償化とするかなどを今年度中に決定する方針である。

(7) コロナ禍におけるコミュニケーションスクールの取り組みについて

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「コミュニケーションスクール(CS)」において、本町では学校運営協議会において実施検討を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により会議等の開催が思うように

出来ていない状況であることから、今後はリモートや書面等を利用した会議の開催を検討していくこととしている。

新型コロナウイルス感染症の影響により学校運営に係る支援活動についても様々な制約がある中、「コミュニケーションスクールを活用した学校支援活動として「職業体験学習」「スキー・スケート授業」などを実施しているが、子どもの学びや交流を止めないため、オンラインや授業時間外での活動等、感染リスクの低い活動での支援やコロナ禍でも活動できる取り組みを今後検討していくこととしている。

2 まとめ

新型コロナウイルス感染症の影響で学校での授業見学ができない状況ではあったが、本町の小・中学校で実際に使用されているデジタル教科書やリモート授業について、テレビモニターによるデモンストレーションを交えた説明により、現時点でのコロナ禍における本町の小・中学校の授業の現状を確認することができた。

今回授業の状況を実際に見学することが出来なかつたので、コ

ナ終息後において、再度、授業見学等による調査を実施する必要があるのではないかとの意見が出された。

今後においては、コロナ禍における学校での新しい生活様式が定着する中での児童生徒の学びの保障やデジタル教科書の導入に伴う授業への対応など、タブレット端末等を活用したリモート授業及びオンライン授業が更に加速され必要となっていくことと思われる。

このため、授業のデジタル化を進めることで、先生と児童生徒との絆や報徳の教えを基本とした豊頃スタイルによる学力の向上が更に図られているが、タブレット端末等を活用したリモート授業及びオンライン授業による成果を検証することも必要ではないかなどの意見も出されていた。



実際のリモート授業の様子(中学校)

産業厚生常任 委員会レポート

広報とよころ

▽産業厚生常任委員会レポート
議会だより

役場だより

産業厚生常任委員会（坂口尚示委員長）は、1月28日、令和2年12月に設置されたジュエリーハウスの利用状況と施設管理の状況について、説明聴取及び現地調査を行いました。

1 調査の経過と結果

(1) 施設概要について

ジュエリーハウスは、地域経済の活性化、観光振興及び町民の多様な経済活動を支援するための施設として設置された。

建物の構造は、木造平屋建てで面積が143.46㎡で、休憩所、物産販売又は展示スペースとして使用できるオープンスペースのほかに、冬期間にも使用できるトイレなどが設置されている。事業費の総額は4304万8000円で、財源の内訳として北海道の地域づくり総合交付金が500万円、辺地債が2900万円、残りの904万8000円は一般財源となっている。また、建物には、フリーワイファイの環境も整備し利用者への利便性確保にも配慮している。



(2) 利用状況について

令和2年12月の開設当初は、新型「コナウイルス感染症」の感染拡大防止の観点からトイレだけの利用となっていたが、令和3年度において、大津地域住民を対象とし「互産互生市」を8月5日から10月28日までの間11回開催しており、累計来場者数が282人となっていた。



ジュエリーハウス（外観）

また、本格的なジュエリーアイズシーズンを前に施設のトイレを、今年の1月1日から開放しており、1月24日までの施設利用者は累計で2871人となっている。オープンスペースの開放及び

ジュエリーアイズシーズンが到来する1月下旬からは、更に施設利用者の増加が見込まれていたが、新型「コナウイルス感染症」の感染拡大に伴い、オープンスペースが当分の間閉鎖されている。

今後の施設利用計画としては、1月から3月までのジュエリーアイズシーズンにおける観光客の受け入れ、4月から12月までの間においての定期的な「互産互生市」の実施、アーティスト等による展示会等の開催及びジュエリーハウスを拠点とした豊頃町の自然・文化・産業などを活かした体験メニューの提供を検討している。

(3) 施設の管理について

施設管理については、豊頃町ジュエリーハウス条例第10条に「町長は、使用者の利便を図るため町内に所在する団体等に、施設の維持管理の全部又は一部を委託することができる」と規定していることから、令和3年度においては、「一般社団法人ココロ」に年間108万6000円で施設の管理を委託している。

管理運営業務の内容としては、「町民誰もが気軽に利用できるように配慮する」「利用者が常に快適に気軽に利用できるよう施設の衛生管理を行う」「火災、盗難等の予防・点検」「火災時における商工観光課への報告、避難活動、復旧活動」「事故の対応」及び「利用者からの苦情対応等」となっている。



現地調査（ジュエリーハウス内）

(4) 大津地区住民への説明

ジュエリーアイズが、多くのメディアなどに取り上げられ話題になり多くの観光客が訪れたことから、地域住民と観光客の共生を図るために、地域住民や地区の経済団体である漁協とも意見交換会を実施している。

意見交換会は平成29年度から毎年実施しており、開催回数は8回



となっている。出された意見の主なものとしては「大津が有名になることは嬉しいこと」などの好意的な意見のほか、「マナー違反」など地域住民が困っていることも多く出されていた。また、要望として「ジュエリーハウス、駐車場の位置をわかりやすく看板などで表示してほしい」「駐車禁止の看板設置」「緊急時の連絡先の表示」また「安全確保のため河口付近の堤防から海岸に降りる道路の封鎖」などが出されていた。

また、令和3年4月に大津地区住民120世帯を対象にジュエリーアイスに関するアンケート調査を実施しており、10名からの回答があった。アンケートに対する具体的な回答の内容は、「ジュエリーアイスの観光客増加について」は、ほとんどの方が「嬉しい」と回答していた。「観光客の増加に伴い環境整備を進めているが日常生活で困っていることについて」の回答では「看板が分かりづらいので検討が必要」「路上駐車している観光客がいる」「コロナが不安」などの意見が出されていた。「ジュエリーハウスの活用について」の回答では「ジュエリーアイス写真コンテスト等の実施」「春から秋は気軽に入れる休憩ス

ペースで、冬はこれまで通り」などの意見が出されていた。「その他」では「地元の人憩いの場になるのではなく観光に活かしてほしい」「売店等はコロナが治まるまで控えてほしい」などの意見が出されていた。

なお、意見交換及びアンケートで出された意見等については、ジュエリーアイス観光の受入整備やジュエリーハウス運営での参考として活用しているが、今後においてもアンケート調査に回答していない方などの声を更に拾い上げる場面を設けていき施設運営に反映させていくこととしていく。



観光客が利用する駐車場
(令和3年1月)

2 まとめ

ジュエリーハウスの運営については、地域住民等との意見交換により住民の理解と協力を得て運営を実施することとしているが、現状においては、観光客のマナー違反を未然に防止するための周辺住

民への配慮、また、観光客が利用する駐車場に簡易トイレが設置されておらず、観光客への配慮などが必要ではとの意見が出された。また、現在はコロナ禍でジュエリーハウスのオープンスペースが閉鎖されており通常時の利用状況等が分からないことから、コロナ終息後において再度調査をする必要があるのではないかとの意見も出された。

今後においては、継続して課題等を整理しジュエリーハウスを核としたツーリズム等の体験メニューの検討、土産品等の開発など施設を活用し交流人口・関係人口が拡大され地域経済の活性化に繋がることに期待したい。



ジュエリーアイス(早朝撮影)

議会日誌

- 〔3月〕
- 1日 議員全員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 10日 第1回定例会(1日目)
(補正予算、その他)
- 16日 第1回定例会(2日目)
(令和4年度当初予算)
- 22日 第1回定例会(3日目)
(一般質問、その他)
- 〔4月〕
- 4日 議会広報特別委員会
- 18日 総務文教・産業厚生常任委員会合同所管事務調査
(～20日)
- 27日 十勝圏活性化推進期成会委員会
十勝町村議会議長会定例会
～帯広市
- ◎今後の予定
- 〔5月〕
- 13日 第2回臨時会
- 〔6月〕
- 3日 議会運営委員会
- 8日 第2回定例会(1日目)
(補正予算、その他)
- 13日 第2回定例会(2日目)
(一般質問ほか)
- 14日 北海道町村議会議長会
定期総会
～札幌市

※日程は変更する場合があります。

広報とよこる

議会だより

役場だより